



ぼうさい まもる  
防災 守くん

# ふれあい119



【応急手当コーナー】



【健康コーナー】



【救急搬送訓練】  
【県防災ペリ（ひめかみ）】



【看護・医療相談・  
健康コーナー】



【多数傷病者応急手当訓練】  
【応急救護所】



【煙体験】



【消防艇体験】



【炊出し訓練】  
【北上市婦人消防協力隊】



【放水体験】



【黒幼太鼓】  
【黒沢尻幼稚園幼年消防クラブ】



【よさこいソーラン】  
【県立黒沢尻南高校】



【北上一輪車スポーツ少年団】

……………救急医療週間（9月8日～9月14日）イベント……………

平成14年9月8日(日)午前10時から北上総合運動公園を会場に、「安全で安心できる地域づくり」をテーマに、「救急の日」消防フェスタ2002を開催しました。

今回は、北上医師会・県防災航空隊・岩手県交通などのご参加を頂き合同防災訓練の実施、消防機器の展示・医療相談・消防体験などのコーナーを開設しました。

また、黒沢尻幼稚園・黒沢尻南高校など4団体の集団演技が花を添えてくれました。

平成14年10月 ●編集・発行／北上地区消防組合消防本部広報編集委員会  
〒024-0083 北上市柳原町二丁目3番6号  
TEL 0197-64-1122 FAX 0197-65-5170 災害情報案内 0197-65-5119

# 錆や変形のある消火器は絶対に使用しないで!



## 錆・キズ・変形のある消火器が見つかったら

1. レバーは絶対に握らないでください。
2. 必ず《使用禁止》ラベル等を貼って分かるようにしてください。
3. ゴミに出したり、屋外に放置しないでください。
4. 火災時はもちろん、訓練でも決して使わないでください。
5. 決して自分で分解しないでください。
6. 速やかに消火器販売店など専門業者に引き渡してください。

### 本体容器



層状はく離の腐食

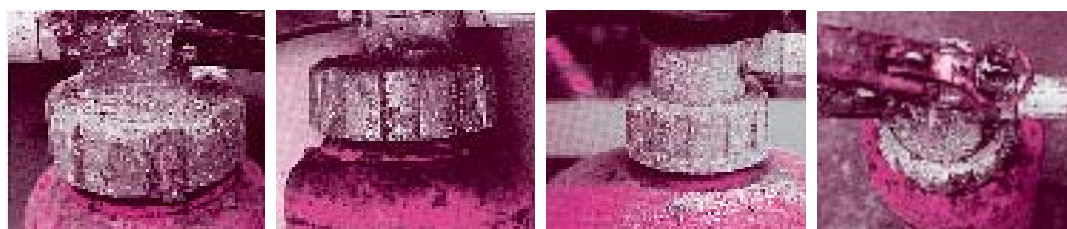
あばた状の腐食

溶接部とその周辺の腐食

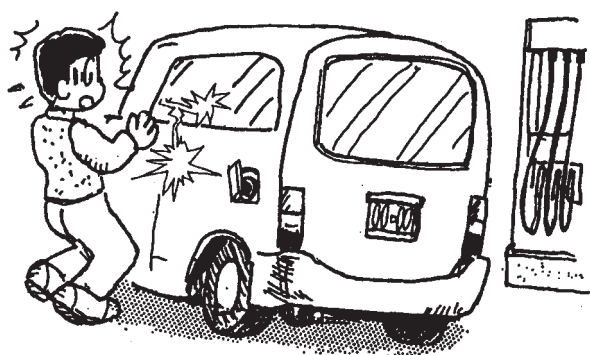
使用に耐えない鋭いキズ

使用に耐えない変形

### 蓋 (キャップ)



## セルフ式ガソリンスタンド利用の注意点



最近全国的に、セルフ式ガソリンスタンド（顧客が自ら給油をするガソリンスタンド）が増えてきています。給油しようとして燃料タンクの蓋をひねった瞬間、給油口付近で発火した事故例が報告されています。

体に帯電した静電気によりガソリンの可燃性蒸気に引火したものと考えられます。

セルフ式ガソリンスタンドで給油する時は、**必ず** ドア等の金属部や静電気除去マットに触れてから給油しましょう。

# 心肺蘇生法による救命事例が多数報告されています!



北上地区消防組合救急活動統計によると、過去5年間に一旦呼吸や心臓が止まった人が、元通りの生活が出来るまでに回復した事例が7件あることがわかりました。

その方々に共通して言えることは、倒れた人の近くに心肺蘇生法の出来る人がいて、救急車が着くまで人工呼吸や心臓マッサージをしていたことです。

助かる命を救うためにも、心肺蘇生法を身につけましょう。

循環のサイン (呼吸をする、体を動かす) がないときは…

意識のないときは…

呼吸をしていないときは…

**A** 気道確保  
AIRWAY

**B** 人工呼吸  
BREATHING

**C** 心臓マッサージ  
CIRCULATION



※あごを持ち上げ 気道を確保します。



※鼻をつまみ、ゆっくり息を吹き込みます。(2回)



※心臓マッサージ15回と、人工呼吸2回を交互に繰り返します。

消防署では、心肺蘇生法の講習会を随時受け付けています。希望があれば出向いて講習も致します。

また、毎月第二・第三日曜日午前9時から12時まで北上消防署で講習会を開催しています。どなたでも受講できますので、気軽にお越しください。

お問い合わせは

北上消防本部警防課

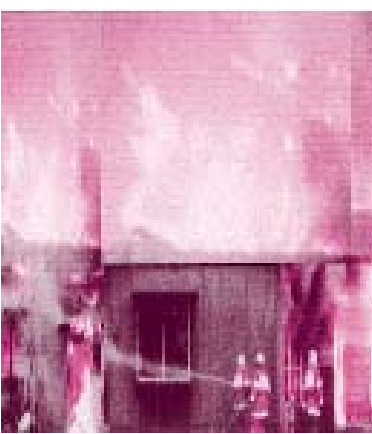
六五―五一七六まで

## 平成14年に入ってから 火災件数

平成14年8月末現在、北上地区消防組合管内(北上・湯田・沢内)では28件の火災が発生しており、焼損建物は12棟、建物焼損面積は306㎡、焼損車両は5台で、損害額は2千116万6千円です。昨年同期と比べて件数・損害額とも減少していますが、残念なことに3人の方が亡くなっています。

火災種別は、建物火災が10件、車両火災4件、その他火災(空地・休耕田等の枯れ草)12件となっております。

火の取り扱いには十分注意し火災を出さないようお願い致します。



## 岩手県防災ヘリコプター「ひめかみ」参上



平成14年1月から9月末現在、北上地区消防組合と岩手県防災航空隊が連携して救助活動した件数は7件で、市町村別では北上市4件、湯田町2件、沢内村1件となっております。管内での活動件数は、年々増加しています。

災害種別は、行方不明者捜索(山岳・水難)4件、救助(水難)3件で、水難事故が増加しています。

これから冬を向かえ「スキーシーズン到来」となります。スキーやスノーボードでのケガには十分注意して楽しくすばらしいシュプールを描いてください。

# 江釣子地区に 待望の婦人消防協力隊発足



隊長 高橋 恵子 さん

である『地域の防災は家庭から』  
『我が家から火を出さない』  
『自分の家は自分で守る』  
を基本とし、地域の皆様にご理解をいただきながら全戸加入を目指し、防災意識を高め、活動してまいります。』と、決意表明しました。

平成十四年七月二十八日、北上市消防団第四分団第六部管轄地域（野中地区）に江釣子地区としては初めての婦人消防協力隊（隊員数四十二名）「江釣子かけ橋婦人消防協力隊」が誕生しました。  
初代隊長に高橋恵子さん、副隊長に高橋三樹子さん、田鎖玲子さん、班長に千田育子さん、小原和子さんがそれぞれ就任しました。  
高橋隊長は、「北上市婦人消防協力隊のスローガン



# 北上消防署で体験学習 上長沼少年消防クラブ



幹事長 小原 敏彦 氏

平成十四年七月十三日（土）少年消防クラブ員二十一名と指導者・クラブ員の父母あわせて三十一名が北上消防署で体験学習を行いました。

当日は、梅雨時にもかかわらず、よく晴れ、風もなく絶好の日和でした。

最初に、ハシゴ車搭乗体験。子供たちは『ワーツ』大人たちは『ウォーツ・高いなー』の声。

私も乗せてもらいましたが、顔は余裕？でも手は、

幹事

高橋 勤也 ・ 斎藤 永光 ・ 高橋 民行  
高橋 進 ・ 高橋 信行 ・ 高橋 弘樹  
石沢 一博

汗がジワーツとでした。

次に体験したのがロープ渡り（ロープ渡過訓練）みんなが二回・三回と体験、渡るのが早い子もいて、消防署員の方からも拍手が起きました。

その後、消防署員による救助救出訓練を見学、消防車両の体験乗車及び説明・そして昼食をとりながら『消防署の仕事』についてのビデオ鑑賞をしました。

最後に指令室を見学し体験学習を終了。この体験学習を企画するにあたり、快く協力して下さいました消防署員の皆様に深く感謝いた

します。

今後も、更に地域の火災予防、火の用心を推進して行きます。

（寄稿 幹事長）

